

鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区における オンデマンド実証実験について

- ・ 横浜市 都市整備局 都市交通課

目 次

- ・対象地区の概要
- ・実証実験運行の背景・目的
- ・実証実験の運行概要
- ・関係者説明の経緯
- ・事業スケジュール

対象地区の概要（地区の状況）

地区の人口 約30,000人（65歳以上 約6,600人）

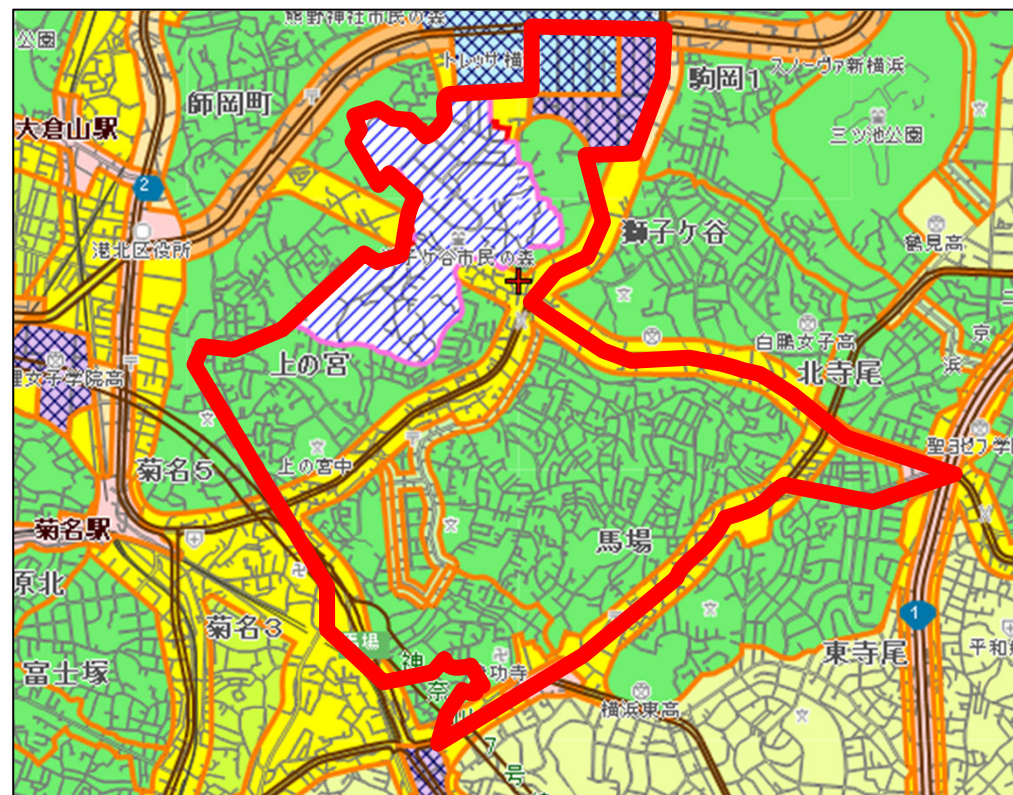
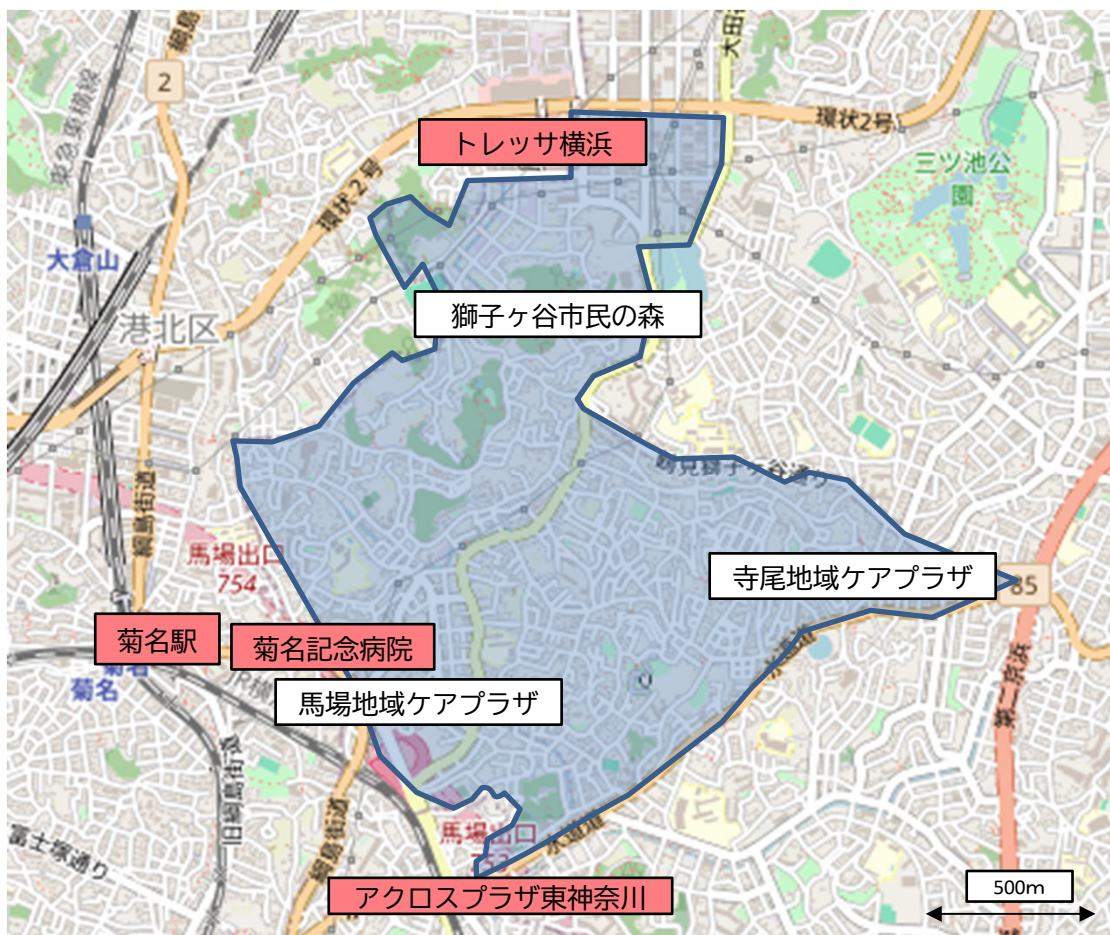
世帯数 約13,000世帯

高齢化率 22%

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA



出典：横浜市都市計画図

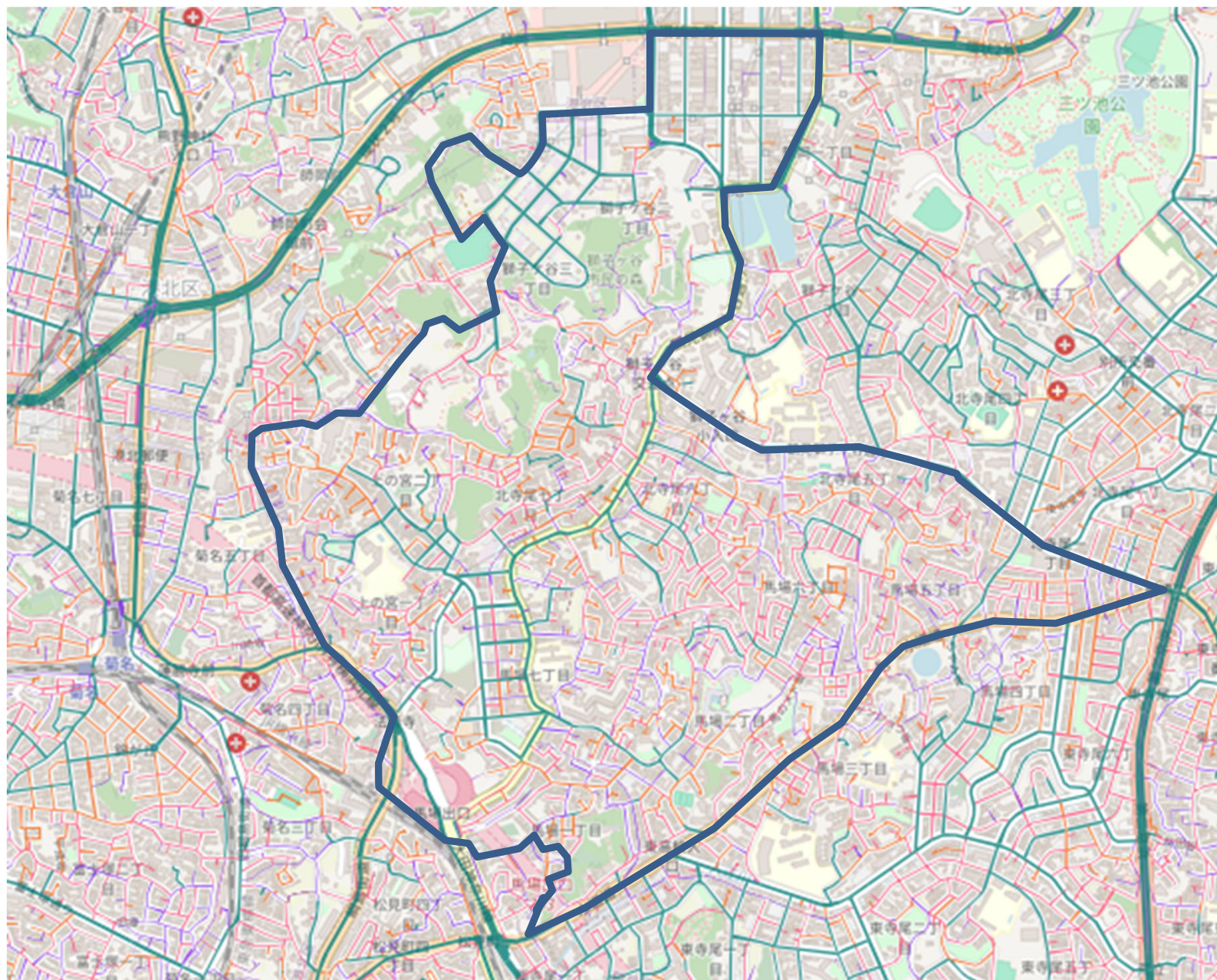
- 第1種低層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 準工業地域(第5種高度地区)
- 工業地域(第5種高度地区)
- 市街化調整区域

対象地区の概要（道路幅員）

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA



幅員

- 3.5未満
- 3.5以上4.5未満
- 4.5以上5.5未満
- 5.5以上

対象地区の概要（地区周辺の主要バス路線）

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- ・既設バス路線の鶴12系統は、馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区から鶴見駅に接続



＜鶴12系統＞
臨港バス
平日46本／日
土休日35～37本／日

鶴見駅西口
↓
獅子ヶ谷
↓
馬場七丁目
↓
上の宮一丁目
↓
鶴見駅西口

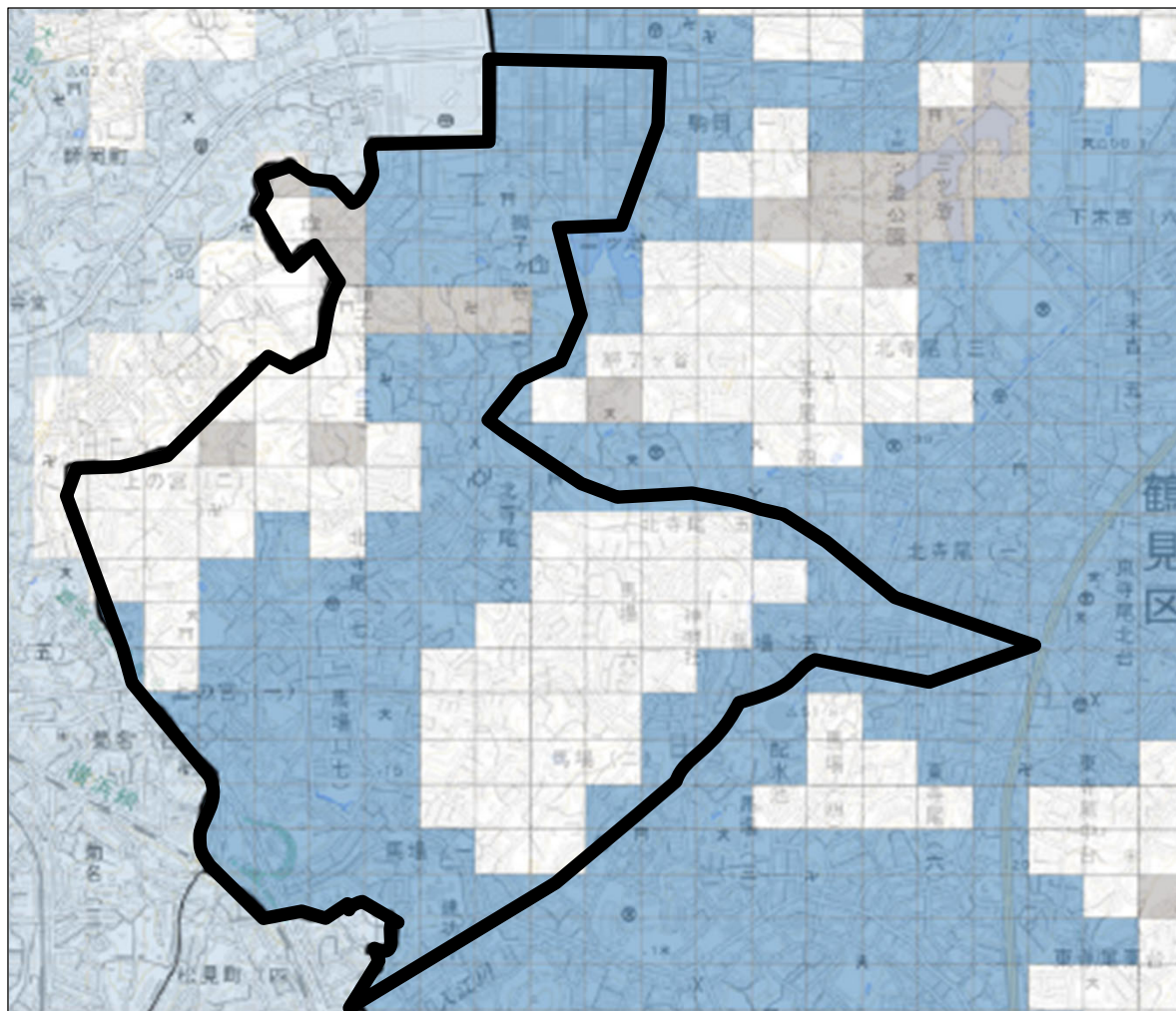
対象地区の概要（公共交通圏域）

- ・公共交通圏域（鉄道駅の徒歩圏域：800m、バス停の徒歩圏域：300m）
- ・対象地区の面積 約2.5km² ・交通空白地域 約1.0km²

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA



125mメッシュ

切り抜き結果

公共交通圏域内

公共交通圏域外

非住宅系土地利用

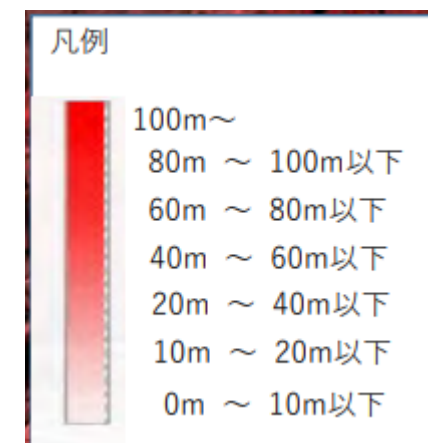
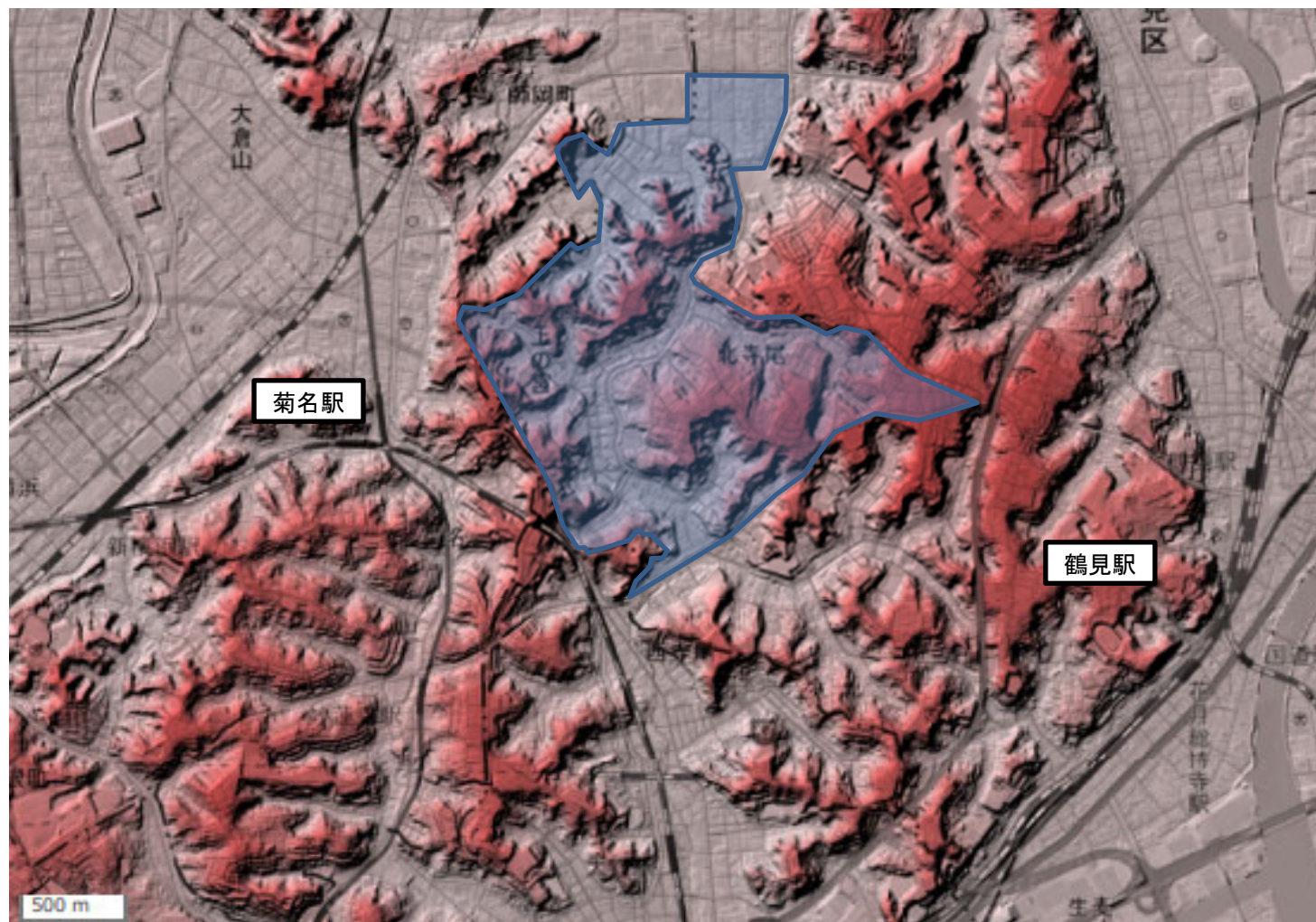
対象地区の概要（地区の標高）

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- ・ 鶴見駅や菊名駅からの高低差は約30～40m、坂が多く高齢者は徒歩による移動が困難



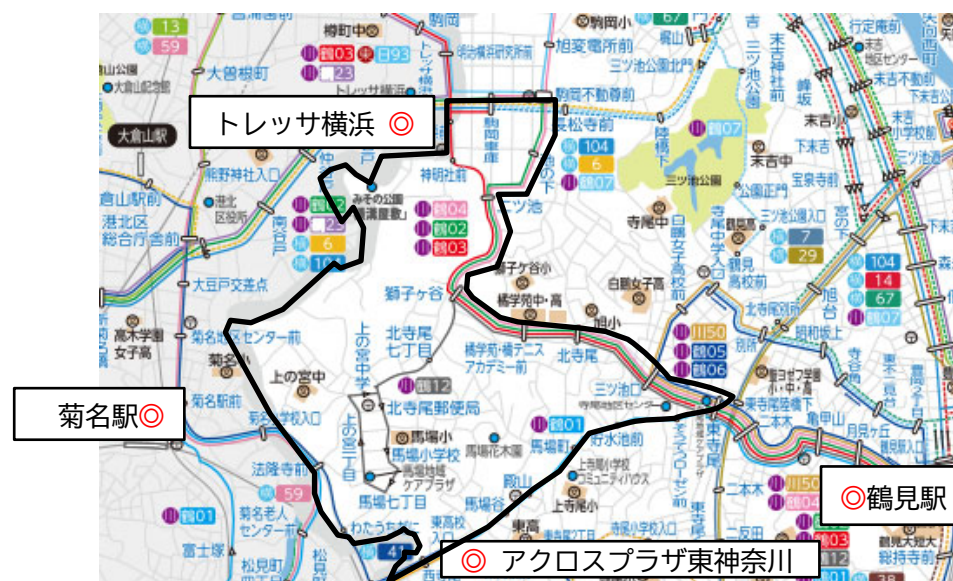
実証実験運行の背景・目的(地域の課題)

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- エリア内は起伏が多くあり、鉄道駅から距離があるため、路線バスへの依存度が高い。
急な坂もあり、高齢者は徒歩による移動が困難。
- 広い交通空白地域があるが、狭隘な道路が多いため路線バスでの運行は制限がある。
- 鶴見駅より菊名駅の方が近く、菊名駅へアクセスする新路線を要望する声が地域から
川崎鶴見臨港バス株式会社に寄せられているが、上記の道路事情及び路線バスの運
転士不足といった多くの課題がある。
- トレッサ横浜、アクロスプラザ東神奈川といった大型商業施設が存在するが、現状エリ
ア内から直接アクセスできる交通手段が存在しない。



【出典 鶴見区バスマップ】

実証実験運行の背景・目的(オンデマンドバスの導入)

路線バスのようにバス停とバス停を結ぶ乗合型の交通である一方、タクシーのように予約に応じた運行かつ、着席可能といった双方の特徴をあわせもった交通サービス

■メリット

- 路線バスとは異なるワゴン車で運行するため、従来走行できなかった狭隘道路でも運行が可能。
- AIが最適な経路を算出することで、必要な時間に広範囲のエリアにおける需要に対応することが可能。
- オンデマンドバスは多数の乗降場を設置できるため、乗車までの移動が容易。

■デメリット

- 一部の高齢者等はアプリやLINEの使い方が分からず、予約に苦慮する恐れがある。
- リクエストしても希望した時間に乗れない恐れがある。



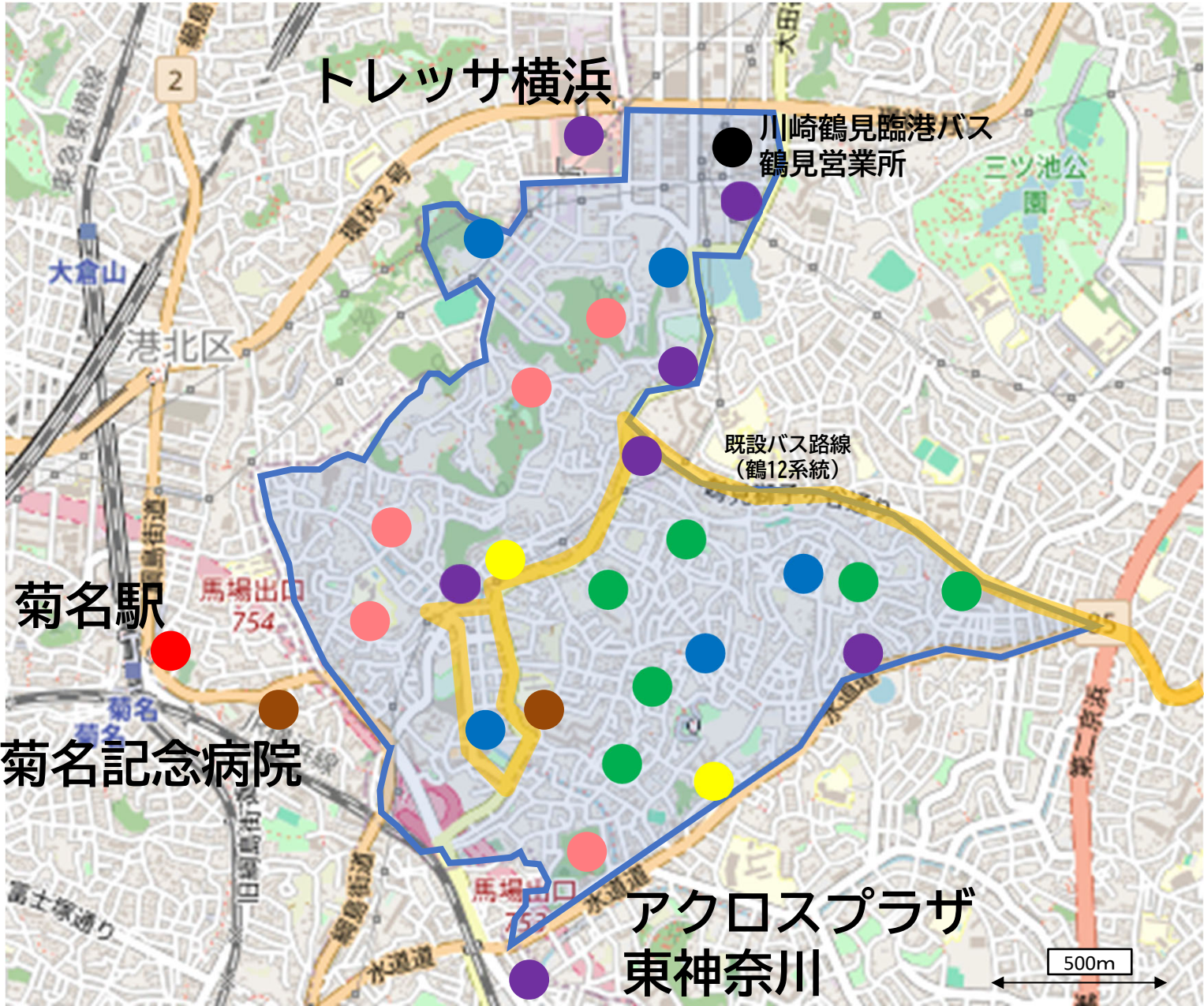
現行の路線バス運行では解決が困難な交通課題(広い交通空白地域、坂が多く高齢者の徒歩移動が困難)を解決するため、路線バスとは異なる新たなモビリティ“オンデマンドバス”が適していると考える。

実証実験運行概要

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

項 目	内 容
運行事業者	川崎鶴見臨港バス株式会社 横浜市の共創フロントを活用した公民連携を提案
運行期間	2025年8月～2026年3月 約8か月間（日曜日と年末年始を除く）
運行時間	8時00分～19時00分
事業許可	道路運送法 4 条 区域乗合認可
運行エリア	横浜市鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区および菊名駅等
乗降場所	30か所程度
運賃	大人：500円 小児：250円 ※運賃分科会で別途協議
予約方法	専用のスマートフォンアプリ、LINEから予約
使用車両	10人乗りワゴン車2台（乗車定員 8名/台）
想定運行費用	約2,400万円（約8か月間）
その他費用	約1,000万円（システム、車両等）
目標収支率（1年目）	25%以上
本市新制度補助額（1年目）	運行費用に対する赤字額全額補助 ※その他費用は別途補助

実証実験運行概要(運行エリア)



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

- ・エリア内乗降場：25か所
- ・エリア外乗降場：4か所

凡例	
	菊名駅
	川崎鶴見臨港バス 鶴見営業所
	商業施設
	公園
	寺/神社
	行政/地域施設
	病院/クリニック
	郵便局

【運行車両のイメージ】



※乗降場は現在調整中であり、今後変更の可能性があります。

関係者説明の経緯

■地元住民への説明会

- ・ 寺尾第二地区連合会（11/21）
- ・ 寺尾地区連合会（11/22）
- ・ 駒岡地区連合会（11/25）

■交通管理者等

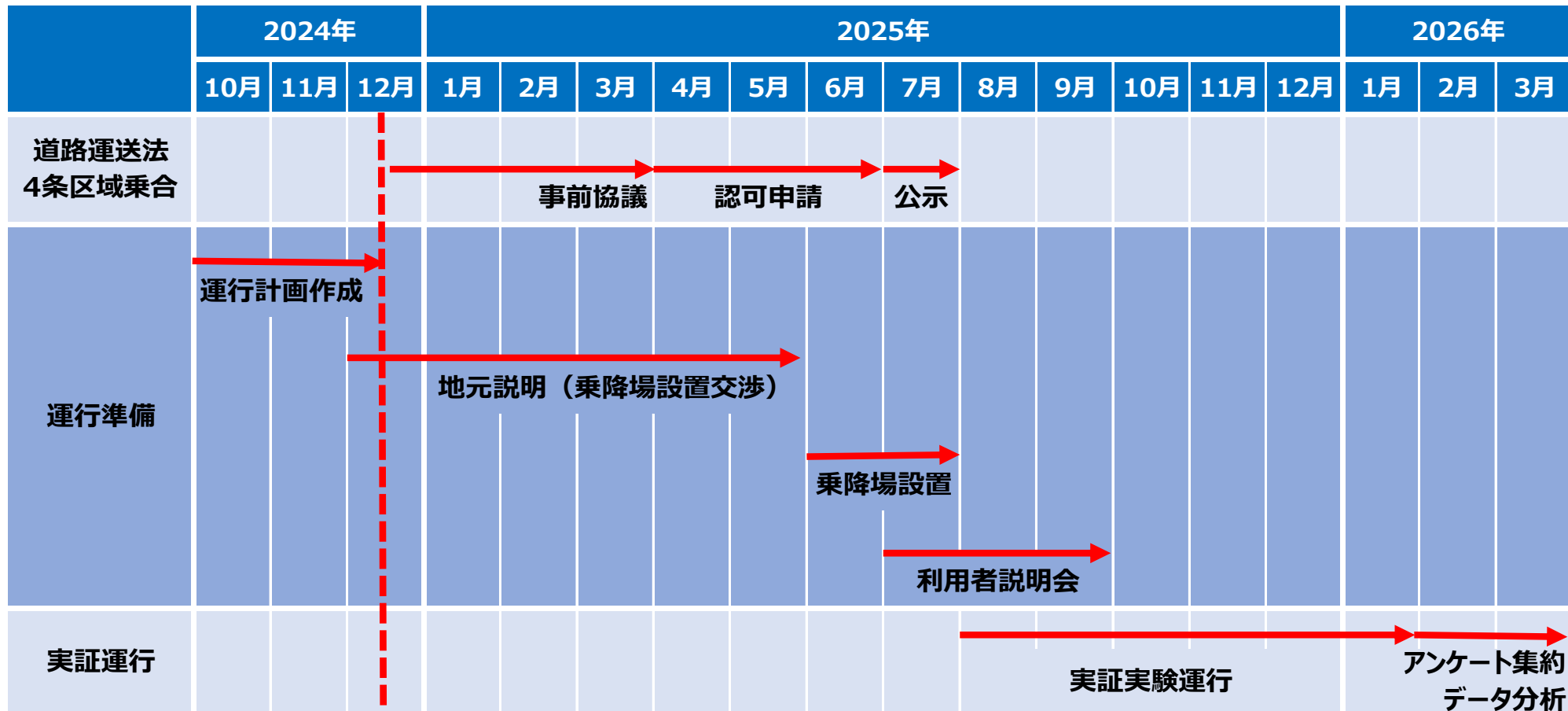
- ・ 鶴見警察署（10/15）
- ・ 鶴見土木事務所（10/15）

■業界団体

- ・ 神奈川県タクシー協会横浜支部（9/12）
- ・ 神奈川県バス協会（11/13）

事業スケジュール

2025年8月～2026年1月 本計画案にて運行し、実績を踏まえ運行継続可否判断
⇒運行継続の場合、2026年4月 運行エリア・乗降スポット・運賃等を見直す



地域公共交通会議

主な効果検証内容(予定)	把握方法
地域に適した運行内容となっているか(運行計画の改善に向けた検証)	利用実績データ及びアンケート調査
地域住民の外出頻度、マイカー利用頻度、移動手段の変化等	アンケート調査

※アンケート調査は、利用者だけでなく未利用者も対象